



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月23日

静岡市長 殿

提出者

住 所 静岡葵区川合三丁目25番25号

氏 名 NDS株式会社 静岡支店

執行役員 支店長 増田 光男

電話番号 (054) 262-6200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

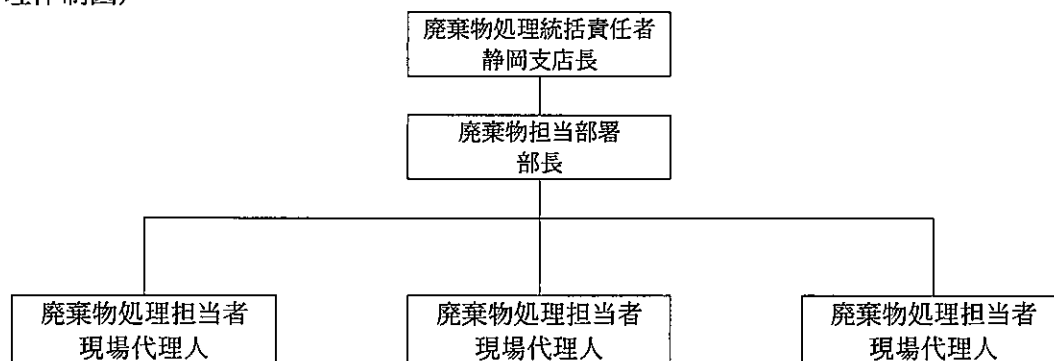
事業場の名称	NDS株式会社 静岡支店
事業場の所在地	静岡市葵区川合三丁目25番25号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	前年度元請完成工事高 8,990,033 (千円)
③ 従業員数	290名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>〈発生源〉</div><div>工事施工現場</div><div>→</div><div>〈廃棄物〉</div><div>アスファルトガラ 他</div><div>→</div><div>〈処理・処分〉</div><div>中間処理 (破碎・再資源化)</div></div>

(日本工業規格



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙1の通り	
	排 出 量	※別紙1の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物取壊し作業時に、廃棄物への土砂等の混入を出来るだけ少なくすること。 ・ 搬入資材は、余剰材料が出来るだけ少なくなるよう、現場を精査し出荷数量を的確に指示すること。 		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙1の通り	
	排 出 量	※別紙1の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物発生量の少ない工法等の情報収集に努め、工事発注者に対して廃棄物発生量の少ない工法の選択について提案を行う。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【がれき類】 工事施工現場において発生するがれき類には、土砂等の混入を出来るだけ避ける様作業手順・施工方法を工夫する。
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【建設混合廃棄物】 工事施工現場で収集した空缶、木くず等の廃棄物は、種類毎に分別し廃棄物の量を出来るだけ少なくする。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	※別紙2の通り	
	全 処 理 委 託 量	※別紙2の通り	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物を分別、減量、再資源化出来る中間処理業者に処理委託する。 産業廃棄物を適正に最終処分できる処理業者に処理委託する。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	※別紙2の通り	
	全 処 理 委 託 量	※別紙2の通り	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	<p>当社が排出する産業廃棄物の大部分を占める「アスファルトがら」「コンクリートがら」等のがれき類は、全て中間処理業者に処理委託し、再生土材資材として100%リサイクルされています。</p> <p>工事現場から発生する建設混合廃棄物は、発生時に種類毎分別し総量を出せるだけ少なくします。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状 【 令和4年度 実績 】

産業廃棄物の種類	総合排出量
アスコン	884.210
ガラス・陶磁器くず	2.470
建設汚泥	22.220
コンクリートがら	637.520
廃プラスチック類	24.690
混合（管理型含む）	43.110
混合（安定型のみ）	50.430
がれき類	264.204
伐採材・伐根材	5.500
木くず	1.970
金属くず	9.040
紙くず	1.200
合 計	1946.564

② 計画 【 令和5年度 目標 】

産業廃棄物の種類	排 出 量
アスコン	850.00t
ガラス・陶磁器くず	2.00t
建設汚泥	15.50t
コンクリートがら	600.00t
廃プラスチック類	20.00t
混合（管理型含む）	35.50t
混合（安定型のみ）	45.00t
がれき類	250.00t
伐採材・伐根材	5.00t
木くず	1.50t
金属くず	5.50t
紙くず	1.00t
合 計	1,831.00t

(別紙2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状 【 令和4年度 実績 】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	処理委託先			
		優良認定業者 への処理委託量	再生利用業者へ の処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	左記以外の熱回収 を行う業者への
アスコン	884.210	426.770t	457.440t	0t	0t
ガラス・陶磁器くず	2.470	0t	2.470t	0t	0t
建設汚泥	22.220	4.600t	17.620t	0t	0t
コンクリートがら	637.520	2.000t	635.520t	0t	0t
廃プラスチック類	24.690	6.910t	17.780t	0t	0t
混合（管理型含む）	43.110	42.710t	0.400t	0t	0t
混合（安定型のみ）	50.430	41.390t	9.040t	0t	0t
がれき類	264.204	76.164t	188.040t	0t	0t
伐採材・伐根材	5.500	0.320t	5.180t	0t	0t
木くず	1.970	0t	1.970t	0t	0t
金属くず	9.040	9.040t	0t	0t	0t
紙くず	1.200	0t	1.200t	0t	0t

② 計画 【 令和5年度 目標 】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	処理委託先			
		優良認定業者 への処理委託量	再生利用業者へ の処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	左記以外の熱回収 を行う業者への
アスコン	850.00t	401.00t	449.00t	0t	0t
ガラス・陶磁器くず	2.00t	0.00t	2.00t	0t	0t
建設汚泥	15.50t	4.30t	11.20t	0t	0t
コンクリートがら	600.00t	1.80t	598.20t	0t	0t
廃プラスチック類	20.00t	6.40t	13.60t	0t	0t
混合（管理型含む）	35.50t	33.30t	2.20t	0t	0t
混合（安定型のみ）	45.00t	39.00t	6.00t	0t	0t
がれき類	250.00t	71.50t	178.50t	0t	0t
伐採材・伐根材	5.00t	0.30t	4.70t	0t	0t
木くず	1.50t	0.00t	1.50t	0t	0t
金属くず	5.50t	5.50t	0.00t	0t	0t
紙くず	1.00t	0.00t	1.00t	0t	0t